

## 新年の御挨拶

— 会長 入来院重宏 —



皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成23年の新春を迎えるに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、全国農業会議所、都道府県農業会議、（社）日本農業法人協会等、関係団体をはじめ、多くのご協力のお陰をもちまして、農業に積極的に関与している全国各地の社会保険労務士を中心に「全国農業経営支援社会保険労務士ネットワーク」を発足させることができましたことをあらためてお礼申し上げます。

昨今、雇用状況の厳しい中、地域雇用の受け皿として農業法人等が注目を浴びる機会が増えてまいりました。しかし、農業法人等へのアンケートや実地調査の結果を見る限り、農業の現場における労働条件や労働環境の実態は、他産業と比較してま

だまだ十分なものといえません。

私は、農業の労働条件の改善ポイントとして、①賃金額の引き上げ（平均年収300万円へ）②働く意欲につながる安定した賃金制度への転換（時給制・日給制から月給制へ）、③社会保険の加入——の3つを挙げたいと思います。

社労士ネットは、農業法人等における雇用の改善や働く人々の労働条件の向上に努めることを目的として発足した会であります。農業の明るい未来を信じて日々汗を流しておられる従業員を長期にわたり継続的に雇用できる環境を整えるため、私たち社労士ネットの仲間は地道にこつこつと、しかし全力で取り組む所存であります。

本年も何卒、よろしくお願い申し上げます。

— 副会長 瀬川徳子 —

明けましておめでとうございます。

昨年夏、ボランティア的発想に基づき「社労士ネット」が立ち上がりまして、初めての正月を迎えました。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

業界は、「戸別所得補償」「TPP」などめまぐるしい政策変化に翻弄され、問題は山積みではありますが、私たちは労務管理という側面から、農業が「業」として成長し、将来も生き残れる企業に変身させるという大きなお役目をいただいたと自負しています。志を立て、情報を共有し、研鑽を積み、協力・共力しあって、強いネットワークの構築により、農業経営の発展を支援してまいりましょう。さあ、「卯」年にあやかり、飛んで跳ねて実践の年にいたしましょう。

本年が皆様にとって、良い年でありますように！

